

学生支援サミット 2018

実施報告書

三重大学 学生総合支援センター



目次

1. はじめに … p.2

2. 学生支援サミット 2018 概要 … p.3

- 趣旨
- 目的
- テーマ・内容
- 主催
- 日時・場所
- 参加申込者
- 事前準備および当日のプログラム
- 当日のグループワーク
- 投票方法
- 必要備品
- 会場の配置図

3. 当日の参加状況 … p.6

- 学生・教員・職員の参加状況

4. 当日の流れ … p.7

- 進行スライド

5. グループ発表 … p.11

- 投票結果
- 投票数上位 3 グループのアイデア
- 各グループからのアイデア発表スライド

6. 資料 … p.22

- 学生支援サミット 2018 ポスター
- 表彰状
- 三重大学ホームページ トピックス掲載記事
- 事前アンケート集計結果

1. はじめに

三重大大学では、「学生支援サミット」と名付けたイベントを毎年開催しています。これは、今後の三重大大学の学生支援のあり方に関するビジョンを、学生、教員、職員がともに描き、共有し、それに基づいて三重大大学の今後の学生支援のあり方を検討する目的で、平成 24 年度より始まりました。毎回、テーマを設定し、参加者はグループに分かれて意見を出し合い、それを全員で共有します。

本年度の「学生支援サミット 2018」は、サブタイトルに「魅力ある課外活動の未来とともに展望しよう」を掲げ、今後のより魅力ある課外活動の実現を目指してサミットを開催しました。議論のテーマを『課外活動を活性化させるために自分たちができること』とし、課外活動を活性化させるにはどうすればよいかについて、協働して活発にディスカッションを行い、アイデアの発表を行いました。本報告書は、この活動と成果をまとめたものです。

サミットによって出された、課外活動の活性化のための活動や仕組みに関するアイデアを多くの方に知っていただき、学生生活環境の充実をはじめ、三重大大学の発展の寄与につながる資料としてご覧いただけることを心よりお願い申し上げます。

また最後となりますが、学生支援サミットの企画・運営に関わりご協力を頂いた皆さま、当日参加し貴重なアイデアを出して頂いた学生・教職員の皆さまに厚くお礼申し上げます。

学生総合支援センター

2. 学生支援サミット 2018 概要

○ 趣旨

年に一度、三重大大学の学生・教員・職員がともに大学をより良いものとして行くために協働して議論を行う機会として開催している。本年度は、サブタイトルに「魅力ある課外活動の未来をともに展望しよう」を掲げ、今後のより魅力ある課外活動の実現を目指し、サミットを開催した。

○ 目的

- ①『課外活動を活性化させるために自分たちができること』について、学生と教職員がそれぞれ主体的に検討する（課外活動の活性化に対して主体的に検討する機会）。
- ②大学での学修や生活をより生き生きとした望ましいものにできるよう、学生と教職員が協働する意識を育む（協働の機会）。
- ③課外活動に取り組む学生とそれを支援する教職員が、今後の魅力ある課外活動についてともに展望することで、実現可能な三重大大学の発展の形を創出する機会とする（実現可能な発展の形の創造）。

○ テーマ・内容

『課外活動を活性化させるために自分たちができること』を今年度のテーマとする。まず、事前アンケートの結果をもとに、「活性化」にとって重要なテーマを2つ提示し（例：部員を増やすには、設備利用の課題と充実化についてなど）、それらのテーマに対して「自分たちは何ができるか」という主体的な参画の手段や方法について、学生と教職員が協働して検討した。グループでまとめたアイデアは、パワーポイントを用いて形にし、発表及び参加者全体での吟味を行うこととした。

当日の課題テーマは以下の2つを設定した。

- ①『メンバーを増やすには&団体へのコミットメント・団結力を高めるには』
- ②『設備使用にあたっての改善案や工夫、それによってもたらされるもの』

検討する課題テーマは、上記の2つのうちどちらかを各グループで選択、アイデアを検討した。

○ 主催

三重大大学 学生総合支援センター

○ 日時・場所

平成30年7月4日（水）13:30 ～ 16:00 メディアホール

○ 参加申込者

学生については、クラブ・サークル連絡会での呼びかけ等を行って募集した結果、44 団体（体育系 23 団体、文化系 22 団体）から合計 64 名（体育系 28 名、文化系 36 名）がエントリーした。教員については、各学部から 2 名の参加を依頼した結果、計 9 名（医学部のみ 1 名、他学部は 2 名）がエントリーした。職員については学生支援チームより依頼を行い、計 18 名がエントリーした。

グループは、体育系・文科系のバランスを考慮して全 10 グループを編成した。

※財務部及び施設部の職員には会場を巡回してもらい、財務面・施設面での助言を各グループに適宜提供していただいた。

○ 事前準備および当日のプログラム

事前準備

6 月 13 日（水）のクラブ・サークル連絡会において、(1) 学生支援サミット 2018 の事前説明を行い、(2) 当日の課題テーマ設定の参照データを収集するために、各団体の課題・悩みについての簡易版自由記述式アンケートの配布・回収を行った。同様のアンケート用紙は、全団体の連絡用ポストを用いて配布し、データ収集を行った。また、参加申込をした学生にはメールでの当日のアナウンスを行った。

当日のプログラム

13:10～13:30（20 分）	受付
13:30～13:35（5 分）	開会の挨拶 三重大学学長 駒田美弘
13:35～13:45（10 分）	学生支援サミットの内容説明及び設定テーマの提示（風間説明、学生生活支援室長名田先生の言葉）
13:45～13:50（5 分）	グループで自己紹介（名前、所属等）
13:50～14:50（60 分）	グループワーク（設定されたテーマに対して「自分たちは何ができるか」という主体的な参画の手段や方法について学生と教職員で検討し、アイデアをパワーポイントにまとめる。）
14:50～15:40（50 分）	各グループのプロジェクト発表と質疑応答（5 分×10 グループ）
15:40～15:55（10 分）	最優秀グループの投票・発表＋受賞グループ代表者の一言
15:55～16:00（5 分）	閉会の挨拶 学生総合支援センター長 野崎哲哉

○ 当日のグループワーク

各グループに PC を一台ずつ配置し、アイデアをスライド（パワーポイント）にまとめる。スライドは各グループに配布した USB に保存し、スクリーンに映写しながら各グループの発表を行った。

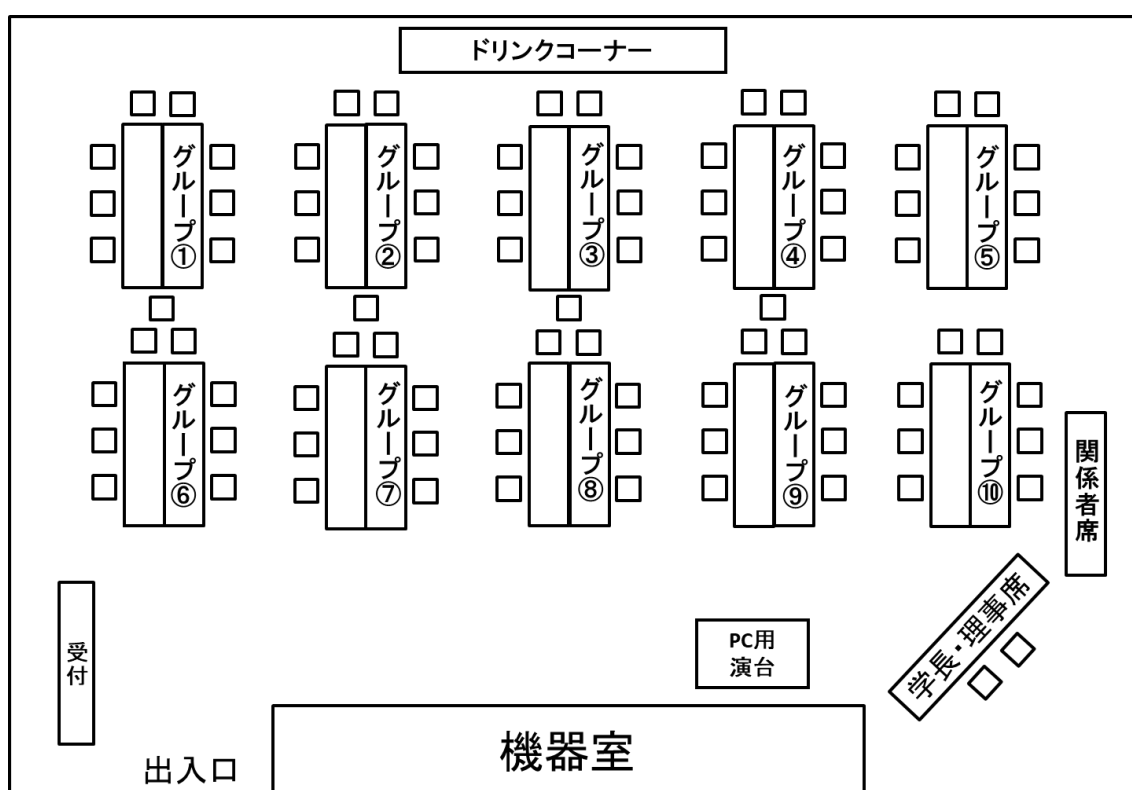
○ 投票方法

Google フォームにて投票を行った。当日は投票時に QR コードを提示し、各自投票フォームにアクセス、投票させた。また、アクセスできない参加者のために紙媒体での投票用紙も用意、実施した。

○ 必要備品

パソコン×10 台、USB×10 本、メモ用紙、筆記用具×2,30 本程度（各グループに 2,3 本程度配布）、ネームホルダーと名札×参加者 87 名+@分、賞状

○ 会場の配置図



3. 当日の参加状況

○学生・教員・職員の参加状況

学生支援サミット当日の参加者数は、学生 57 名、教員 16 名、職員 22 名の、計 95 名であった（表 1）。参加学生の学部内訳は表 2 にまとめた。

学生は 37 団体（体育系 17 団体、文化系 19 団体、その他 1 団体）から合計 57 名（体育系 27 名、文化系 28 名、その他 2 名）が参加した。

体育系

硬式野球部、ハンドボール部、バレーボール部（男子・女子）、馬術部、空手道部、少林寺拳法部、合気道部、自動車部、全学弓道部、ヨット部、トライアスロン部、応援団、武の道、極津（よさこい）、ロボコン部、ラインブレイク、ダンス部 計 17 団体

文化系

管弦楽部、吹奏楽団、ギタークラブ、邦楽部、室内楽団、合唱団、美術部、ESS、全学軽音楽部、表千家茶道部、囲碁将棋部、エレクトーンサークル 23-two・three-、音楽サークル Bb、ウミガメ・スナメリ 調査・保全サークル「かめっぷり」、アンサンブルサークルぶるさあ。、Pioneer、カフェサークル Le Lien、カンボジア支援団体 CSU、三重創生ファンタジスタクラブ、劇団アディスト 計 19 団体

その他

ピアサポーター学生委員会 計 1 団体

表1 学生支援サミット2018参加者数

属性	参加者数
学生	57名
教員	16名
職員	22名
合計	95名

表2 参加学生の内訳

学部	参加者数
人文学部	22名
生物資源学部	11名
教育学部(教育学研究科)	13名
工学部	10名
医学部	1名
合計	57名

4. 当日の流れ

○進行スライド

当日は以下のスライドの通りに進行を行った。



学生支援サミット2018
～魅力ある課外活動の未来をともに展望しよう～

テーマ：
『課外活動を活性化させるために自分たちができること』

7月4日(水) 13:30～16:00
三重大大学 メディアホール（総合研究棟Ⅱ 1階）

MIE UNIVERSITY

主催：三重大大学 学生総合支援センター



開会の挨拶

三重大大学学長 駒田 美弘



プログラム

13:30～13:35 開会の挨拶
13:35～13:45 学生支援サミットの内容説明、課題テーマの発表
13:45～14:50 グループワーク
14:50～15:40 各グループの発表と質問タイム
15:40～15:55 最優秀グループの投票と表彰
15:55～16:00 閉会の挨拶

会場後方には、カフェサークル「Le Lien(ルリアン)」さんからのご協力で、美味しい本格的なコーヒー、紅茶をご用意いただいています！グループワーク中等にご利用ください。



学生支援サミットの説明、課題テーマの発表

学生総合支援センター
障がい学生支援室 風間 惇希

学生支援サミットとは？

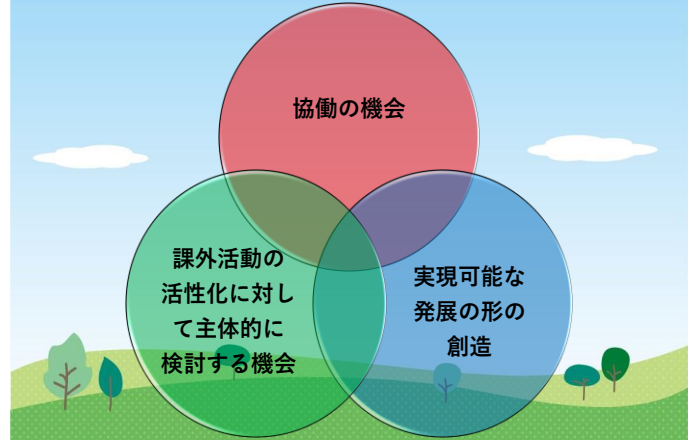
- 年に一度開催される、学生・教員・職員がともに三重大を良くしていくために議論を行うイベント。
- 今年度のテーマは、

『**課外活動を活性化させるために
自分たちができること**』

※「活性化」…組織などの活動を活発にすること（大辞泉第二版）

本サミットにて出された活動や仕組みに関するアイデアは、大学や学生による活動などの実践につなげ活用していきます。

学生支援サミットの目的

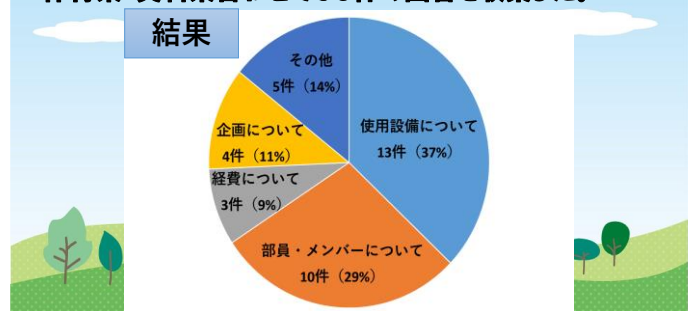


三重大の課外活動

- 「課外活動」：学生が自主的・自律的に行う正課教育外の諸集団活動
- 現在、全学では141（体育系74、文化系67）の課外活動団体があり、所属学生は4,540名（重複込み）にのぼる。
- 課外活動での充実感や積極的関与、達成感、人間関係の充実度、満足感の高さは、大学生のwell-beingを高めることが報告されている（浜崎他，2010）
- よりよい課外活動のあり方を考え、そのための方法やアイデアを創造することは、今後の魅力ある課外活動の発展にとって重要な機会となるはず。

アンケート結果

- サミットに先がけて、「各団体が実際に抱えている悩みや課題、希望」について事前アンケートを実施。
- 体育系・文科系合わせて35件の回答を収集した。



課題テーマの発表

- アンケートの結果を踏まえると…
回答が多かった「使用設備」と「部員・メンバー」についての課題を抱える団体が多いことがうかがわれた。
⇒この2つについての課題テーマを設定します。

課題テーマ①

メンバーを増やすには & 団体へのコミットメント・団結力を高めるには

- 「部員・メンバーが少ない」、「積極的に参加するメンバーが少ない」「つながりが薄い」等の回答が見られた。
- 部員・メンバーを増やすための企画やアイデア、またメンバーの団結力や責任をもって活動にかかわるためのアイデアを考えよう！
という課題テーマ。

課題テーマ②

設備使用にあたっての改善案や工夫、それによってもたらされるもの

- 事前アンケートの結果や昨年度の施設・活動への要望についてのアンケート結果にもあるように、設備についての課題が多いことがうかがわれる。
- 使用している設備(施設や備品等)について、改善してほしいこととそれがもたらすメリットや意義(ただの改善要求ではなくその実現可能なメリットや意義を明確に示す!)、また設備使用について自分たちが工夫していることや工夫できることは何かについて考える！
という課題テーマ。

グループワークの内容

- 自己紹介
 - ①「メンバーを増やすには&団体へのコミットメント・団結力を高めるには」
 - ②「設備使用にあたっての改善案や工夫、それによってもたらされるもの」
- のどちらか取り組みたい課題テーマを決める
- 課題テーマについてのアイデアや解決策等を検討
 - グループ①から順にスライドを使って発表(目安:3分の発表+2分の質疑応答)を行うので、発表用のスライドをパソコンを使って作成する。

グループディスカッション

例:

課題テーマ①or②
グループ○

アイデア、解決策!

1. . . .
2. . . .

最優秀グループの投票

- 各グループに発表を行っていただき、その後、皆さまに「発表内容が最も優れていたグループ」について、Googleアンケート上で投票していただきます。
- すべてのグループの発表が終わった後にアナウンスしますので、下記のQRコードから投票フォームにアクセスし、投票を行ってください。
- 投票フォームにアクセスできない方は、紙の投票用紙も用意してあります。
- 最優秀グループとして表彰されたグループには、表彰状と副賞を準備しています。

入賞を目指した活発な議論とフレッシュを期待しています!



学生生活支援室長からの一言

学生総合支援センター

学生生活支援室長 名田 和義

グループワーク
(13:45~14:50)

グループ発表 &
質疑応答

最優秀グループの投票

- 各グループに発表を行っていただき、その後、皆さまに「発表内容が最も優れていたグループ」について、Googleアンケート上で投票していただきます。
- すべてのグループの発表が終わった後にアナウンスしますので、下記のQRコードから投票フォームにアクセスし、投票を行ってください。
- 投票フォームにアクセスできない方は、紙の投票用紙も用意してあります。
- 最優秀グループとして表彰されたグループには、表彰状と副賞を準備しています。



最優秀グループの 投票と表彰 + 表彰グループからの一言

閉会の挨拶

三重大学副学長

学生総合支援センター長 野崎 哲哉

多くの方のご参加とアイデア
をいただき、誠にありがとうございました。

5. グループ発表

○投票結果

『課外活動を活性化させるために自分たちができること』をテーマに、三重大学における課外活動をより良くするための具体的なアイデアを学生・教員・職員がディスカッションを行い検討した。

全 10 グループそれぞれがスライドを用いてアイデア発表を行い、どのアイデアが優れているかについて、参加した学生・教員・職員から投票を行った。

表3 各グループの得票数及び得票率

	得票数	得票率
グループ①	8	8.2%
グループ②	6	6.1%
グループ③	34	34.7%
グループ④	3	3.1%
グループ⑤	4	4.1%
グループ⑥	8	8.2%
グループ⑦	11	11.2%
グループ⑧	8	8.2%
グループ⑨	2	2.0%
グループ⑩	14	14.3%

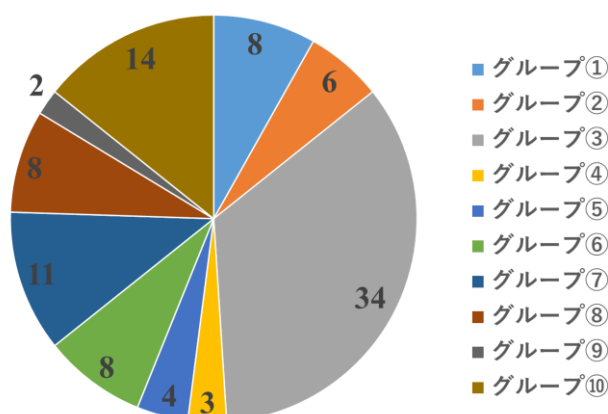


図1 各グループの得票結果

○投票数上位 3 グループのアイデア

全 10 グループのうち、得票数（得票率）が高かった上位 3 グループのアイデアは以下の通りである。

第 1 位: グループ③(得票数 34、得票率 34.7%)

【検討テーマ… ①『メンバーを増やすには&団体へのコミットメント・団結力を高めるには』】

- ・情報の多さや知る場所やタイミングが分からない、環境推進大学としての環境への配慮（ビラの紙削減等）を理由とした、（課外活動の情報についての）アプリ作成による情報の一元化。
- ・ばせお、食堂、メープル等でカフェとコラボしながら交流の空間を作る。

第 2 位: グループ⑩(得票数 14、得票率 14.3%)

【検討テーマ… ①『メンバーを増やすには&団体へのコミットメント・団結力を高めるには』】

- ・全部活・サークルの存在の周知、団体ごとの情報の偏りの軽減を目的とした、部活・サークル紹介冊子の作成。

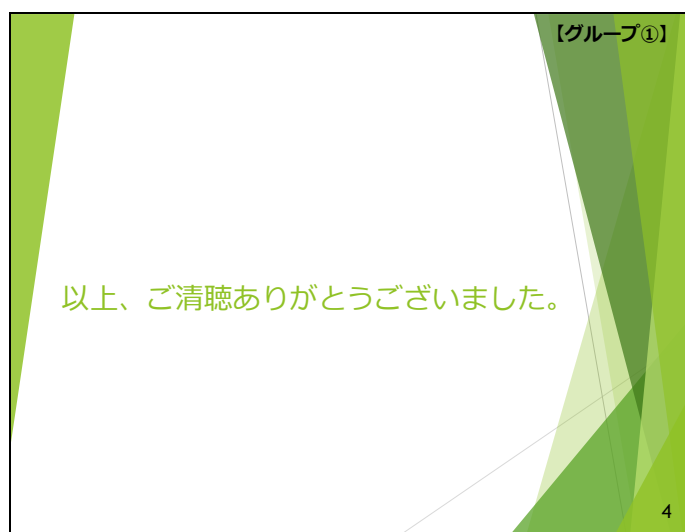
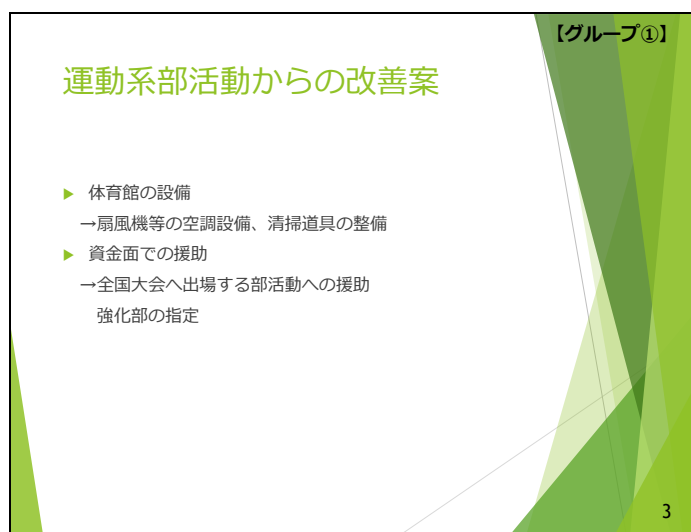
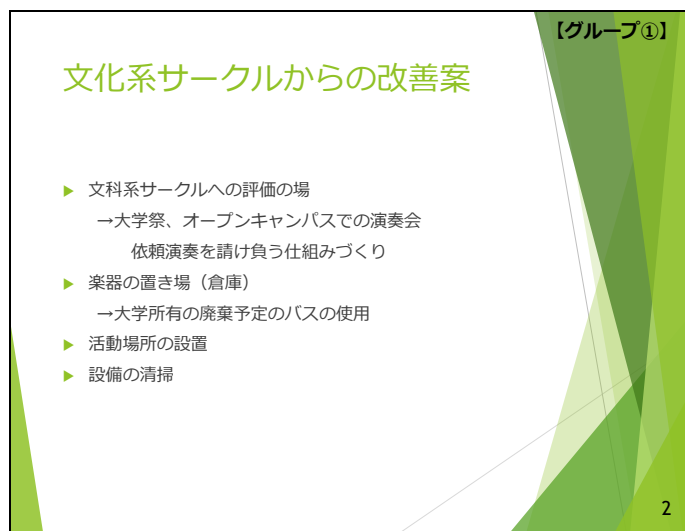
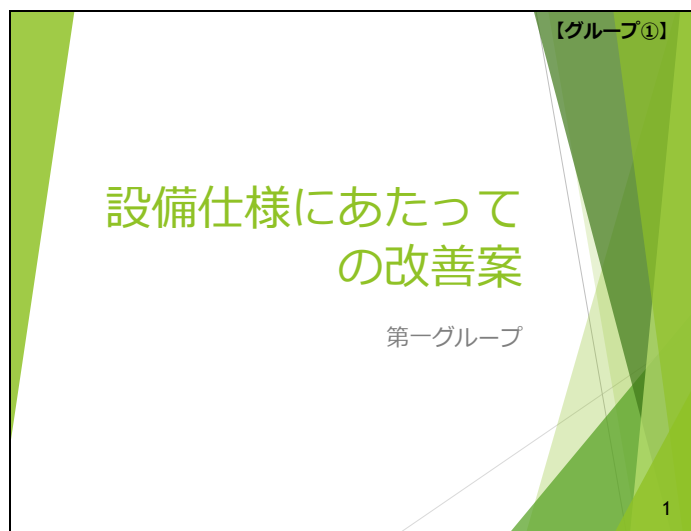
- ・(1)「部活動紹介会」等の名称の変更、(2) 二日間の開催日時、(3) 複数会場の使用、(4) 冊子等での事前周知、といったレセプションの改善案。

第3位:グループ⑦(得票数 11、得票率 11.2%)

【検討テーマ… ②『設備使用にあたっての改善案や工夫、それによってもたらされるもの』】

- ・部員の負担・拘束の軽減、地域貢献に対する支援に向け、(1) 学内において活動実績を報告する場を作り、また地域の声を聞く、(2) 活動が軌道に乗るまでの数年間一定額の支援を行い、活動拠点の充実を図る。それによって、設備環境の充実、部員のモチベーションの向上、活動の充実、新入部員の増加につながる。

○各グループからのアイデア発表スライド



学内をもりあげよう!! ～地域と連携～

1

2班

1

現状課題

2

- ・レセプションは興味がある人が来るものなので、興味を持ってもらうきっかけをつくるためにも何かの行事と合同させたい。
- ・勧誘方法がわからない。勧誘期間は学内中にブース・テントを設置させてほしい。(学際のように)
→課外活動が盛り上がっている様子をアピール。
- ・レセプション(自由参加)以外で、何かの行事に付随して興味を持ってもらえるきっかけを作ってほしい。

2

3 対策案

- ・秋にもレセプションのような、学内で盛り上げる雰囲気をつくる。
- ・オープンキャンパスなどで部活の紹介パンフレットを配布する。
→学外にも宣伝できる。
- ・外部と連携する。(空手)
学生、親を学内案内し、三重大学自体に興味を持ってもらう。
→大学にもメリットにつながる。
- ・クラブサークル団体が合同で、学外(学生)向けのイベントを実施する。
その中で自分たちの紹介も軽くできる。
→地域密着
→他の部活とも交流できる
→小中学生にあこがれを抱かせる

3

3班 発表

1. 情報の一元化
2. 交流空間の創造

1

課外活動の情報を知らせるためには？

YOUTUBEなどの動画を上げる。
学生メールなどの使用。
定例ミーティング(話し合い)
ご飯会
新歓期間

2

【グループ③】

アプリを作る！！

- ・情報を多い、入手できる場所やタイミングが分からない
⇒一つのアプリを情報源にする
- ・環境推進大学として、環境を考える
⇒入学ビラの紙の無駄遣い
2,000枚 × 141団体分の紙・印刷代削減
⇒出欠や感想の紙

3

【グループ③】

メリット

- ・学部の情報
- ・出欠
- ・図書館の入場
- ・マイカペイ

4

【グループ③】

解決策② 交流の空間をつくる

- ・ミーティングをばせおでやる。
- ・食堂の空き時間を使う！！
- ・テーブルなどを使って喫茶店などをやる。
- ・カフェの誘致ができればいいが難しいので・・・
- ・⇒お店の誘致ができればよいが、**カフェサークルとコラボ**して出張喫茶店を

5

【グループ④】

メンバーを増やす ために

グループ④

1

【グループ④】

悩み

- ▶ 入る人が少ない
レセプションに来る人が減っている
↓
学園祭のように皆が来たいと思えるようなイベント

2

悩み

- ▶ 入る人が少ない
入るまでのハードルが高い
↓
活動日の柔軟性を高める

3

悩み

- ▶ 入っても幽霊部員
人とのつながりが弱い
↓
部活内の活動の充実
部活外でイベント

4

悩み

- ▶ 入っても幽霊部員
相談できる人が少ない
↓
部活外にアドバイスを求める
例) フレッシュマンキャンプ
代表同士の集まり
OBOG
他大とのつながり

5

フレッシュマンキャンプとは

- ▶ 他の部活の人とキャンプ
↓
他の部員とのつながり
ほかの部活の状況
部内ではできない相談

6

解決案

- ① 春版学園祭
- ② フレッシュマンキャンプ

7

設備仕様にあたったの改善案や工夫、それによってもたらされるもの

グループ⑤

1

アイデア

- 各団体が集まる会議、交流会を開き、設備使用の改善案を話し合う機会を設ける

2

目的

- 各団体が集まって様々な設備の必要性や優先順位について議論する
- 各団体での交流を深める

3

概要(各団体の設備問題点)

管弦：1～5限は音楽等使用不可
アディスト：機材コンテナの取り壊し
軽音：翠陵会館のみの活動
応援団：騒音問題



各団体の設備問題はさまざまである

4

代表者会議を行う

- 各団体の代表者が集まり設備問題の意見を集約する



本当に必要な備品がわかる

5

具体的内容

- 頻度：年に6回
- 場所：第1食堂
- 内容：
 - ①代表者の学生 と 職員1～2名
 - ②職員が話を集約。
 - ③学生へのフィードバック

6

課外活動のさらなる 活性化のために

6グループ

1

・現状

- ・新入生の偏った印象（風評被害）
- ・マイナーなクラブ、サークルが知られていない
- ・レセプションでは有志参加になってしまうため、印象が固定されたまま

2

・目的

- 新入生の偏ったイメージを改善させたい
- 部員確保、イメージの違いによって減っていく部員を減らす

3

・解決策

- 入学式、入学説明会の延長線上でクラブ、サークル説明会を設ける
- 質疑応答の場面を設ける

4

ご清聴ありがとうございました

5

課題テーマ②

グループ7

1

設備使用の状況と問題点

- **現状**：部員の負担・拘束が大きい
 - 弓道部・ESS→大会等の交通費
 - バレー部→大会参加費
 - 管弦楽団→楽器維持費
 - ラインブレイク→学祭（水族館）費用
- **要望**：負担・拘束の軽減、地域貢献に対する支援
 - ↓
 - 練習に集中できる
 - モチベーション維持につながる

2

解決策（学長から活動資金をいただくには...）

- 活動実績を報告する場を作る（学校に対して）
 - + 地域の声を聞く
- 活動が軌道に乗るまでの数年間一定額の支援
 - = 活動拠点の充実
 - ↓
 - 設備環境が整う
 - モチベーションが上がる
 - 活動が充実する
 - 新入部員が増える→人数不足の改善にも
- **①にも連動!!**

3

部員獲得のアイデア

8グループ

1

➤ どうやって部員を集める？

- ▶ 迷ってる（部活かサークルか・入部）理由を聞いてあげる・悩みの解決に力を貸す
- ▶ レセプションの活用
- ▶ 部活動の活動を知れるきっかけをつくる
- ▶ HPの作成・SNSの活用

2

【グループ⑧】

ここで・・・

部活動の活動を 知れるきっかけ

3

【グループ⑧】

◎部活動アピール動画◎

新入生全員が必ず見る！！動画の作成！

各部活動が「活動を知ってもらえるきっかけ」づくりのために動画を作成する。

→紙にQRコードを印刷し、入学時にもらえる入学袋に入れる。

→入学式の日でホールで流してもらう

→youtubeで流す

➡少しでも部活動について知ってもらえる！

4

【グループ⑧】

▶ ご清聴ありがとうございました

5

【グループ⑨】

課題テーマ

①メンバーを増やすには&団体へのコミットメント・団結力を高めるには

1

【グループ⑨】

テーマ① 部員の確保

サークルに比べて部員の確保が難しい

2

【グループ⑨】

改善案

部活とサービス間での交流の場や協定を結ぶ

3

【グループ⑨】

テーマ②

メンバーによって意識の違いがある

4

【グループ⑨】

改善案

意識の高い子、低い子が共存できる場、仕組みを作る

5

【グループ⑨】

最後に一つだけ・・・

6

【グループ⑩】

メンバーを増やすには&
団体へのコミットメント・
団結力を高めるには

グループ10

1

【グループ⑩】

①部活・サークル紹介冊子の作成

- ▶ 作成目的
 - ・全部活・サークルの存在を知ってもらう
 - ・団体ごとの情報の偏りを減らす

2

作成団体と配布方法

- ▶ 委員会活動が作成の指揮をとる
- ▶ 入学式でほかの資料と同時に配る

3

冊子内容

- ▶ 各部活・サークルが1枚ずつ（非公式団体は有志）
- ▶ 必須事項を求める
 - ・団体名、活動内容、活動日、場所、部員数、連絡先、入部方法、アピールポイント
- ▶ 書き方は自由
- ▶ 掲載は運動系と文化系で分ける
- ▶ レセプションの告知も冊子に乗せる

4

②レセプションの改善案

- ▶ 名称の変更（例：部活動紹介会）
- ▶ 二日間にわたって行う
- ▶ ホールだけでなく、運動場や体育館なども使う
- ▶ 参加団体を事前に知らせる（冊子）

5

6. 資料

○学生支援サミット 2018 ポスター

○表彰状

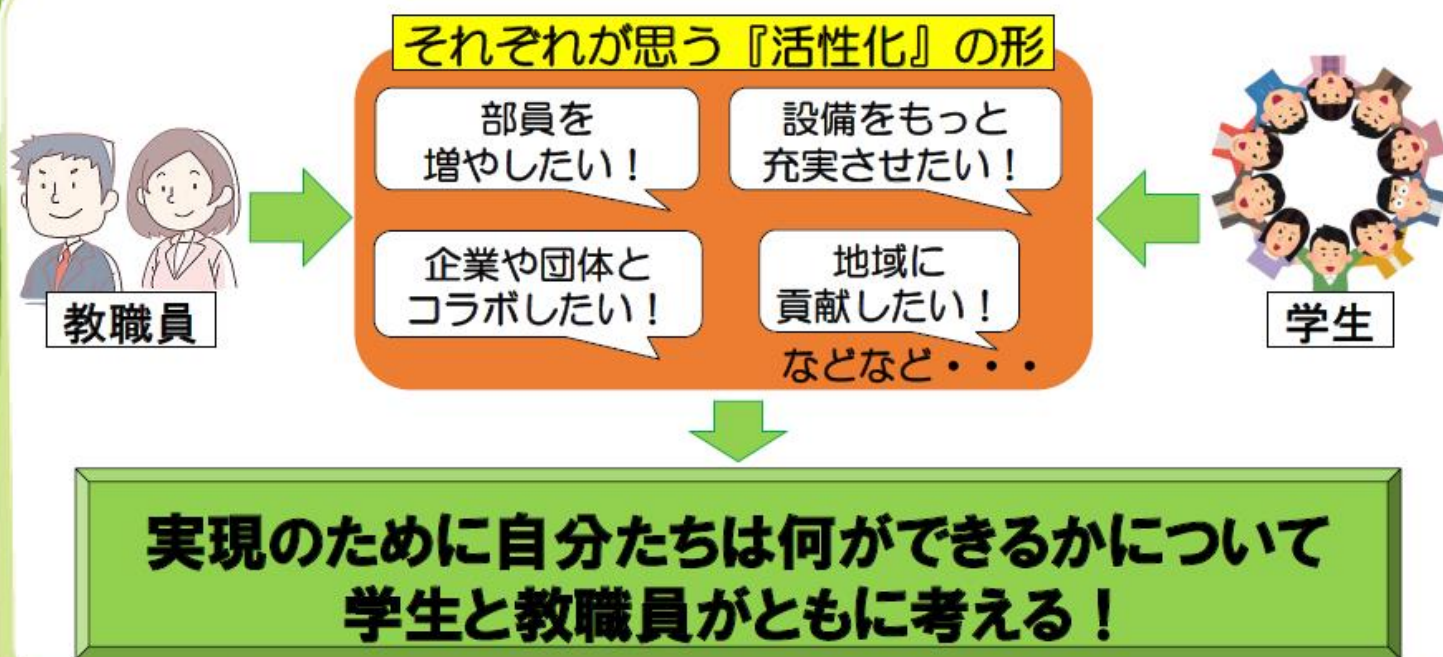
○三重大学ホームページ トピックス掲載記事

○事前アンケート集計結果

学生支援サミット2018

～魅力ある課外活動の未来をともに展望しよう～

テーマ：「課外活動を活性化させるために
自分たちができること」



日時

2018年7月4日 水
13:30～16:00

会場

三重大大学
メディアホール

※ 参加をご希望の方は、以下の宛先
までメールにてご連絡ください。

お問い合わせ・お申込み

三重大大学 学生総合支援センター（担当:風間）

TEL : 059-231-9903

MAIL : junki.kazama@mie-u.ac.jp

参加者
募集

今年度は、「課外活動を活性化させるために自分たちができること」をテーマに、学生・教員・職員が協働しながら今後のより活発な課外活動のあり方とその実現にむけた方法についてディスカッションをしていきます。

普段接点のない学生や教職員の方々とお話しをする機会、何か大学に役立つ体験や活動を行ってみたいという学生、また教職員の方々には、ぜひ積極的なご参加をお願いいたします。

主催：三重大大学 学生総合支援センター



学生支援サミット 2018

「最優秀グループ賞」

殿

貴方は三重大学学生総合支援センター主催の学生支援サミット 2018
において、三重大学の発展に寄与
する素晴らしいグループ発表を行
いましたので、これを賞します。

平成 30 年 7 月 4 日

三重大学学生総合支援センター

センター長 野崎 哲哉



「学生支援サミット 2018～魅力ある課外活動の未来をともに展望しよう～」が開催されました

7月4日(水)、総合研究棟Ⅱメディアホールにおいて、「学生支援サミット 2018～魅力ある課外活動の未来をともに展望しよう～」が開催されました。



本サミットは、学生・教員・職員が協働しながらディスカッションをし、より良い三重大となるよう考えていく貴重な機会として、学生総合支援センター主催で毎年開催されているイベントです。本年度は「課外活動を活性化させるために自分たちができること」をテーマに、学生・教職員合わせて約 95 名が参加し、学生総合支援センター障がい学生支援室 風間惇希講師の進行のもとサミットが行われました。



冒頭、駒田美弘学長から「独創的で想定外の意見がでてくることを期待しています。」と開会の挨拶がありました。



続いて、学生総合支援センター学生生活支援室長の名田和義准教授より「実現の可能性のあるリアリティな議論になるように活発なディスカッションをしてください。」と挨拶がありました。

「課外活動のメンバーを増やすには&団体へのコミットメント・団結力を高めるには」、「設備使用にあたっての改善案や工夫、それによってもたらされるもの」の2つの課題テーマのもと、学生・教職員を交えた10グループに分かれ、話し合いが行われました。



会場内ではカフェサークル「Le Lien」のコーヒー・紅茶も振舞われ、和気あいあいとした雰囲気の中で、各自の実体験も交えた活発な話し合いが行われました。



ディスカッション後の発表では、各チームから個性あふれるアイデアが発表されました。課外活動のメンバーを増やすためには「1年生へ向けて各課外活動の魅力を伝えるため、春にも学園祭のようなイベントを計画する」、団体へのコミットメント・団結力を高めるためには「交流の場として学内にカフェを作る」などの意見が提案されました。設備使用については「各団体が集まり、設備改善を話し合う場を設ける必要がある」などの意見が発表されました。

発表後には参加者投票により、「最優秀グループ」が選ばれ、表彰が行われました。



最後に野崎哲哉副学長から「課外活動を通して成長しているのだと感じた。今後も主体性と創造性の発揮をしてほしい。」と閉会の挨拶がありました。



今後の進展が期待される有意義なサミットとなりました。



事前アンケート集計結果

利用施設について

<体育系>

- ・メンバーも増えて大会でも入賞が多くなってきたため、練習環境向上のために学内での練習場所がほしい！
- ・試合ができる環境(グラウンド設備)
- ・高いネットを設置してほしい
- ・男子合宿所のシャワー室のドアが壊れていて使いづらい
- ・体育館や更衣室に扇風機かクーラーをつけてほしい

<文化系>

- ・大集会室に暗幕用のカーテンを設置してほしい
- ・楽器を置くための倉庫がほしい
- ・ピアノの調律がなされていない。例)音楽棟、大集会室
- ・音楽棟の練習室の防音がしっかりしていない。隣の練習室の楽器の音が聞こえる。(これは少し工夫すれば大きな支障は無いので、あまり考えなくても良いですが)
- ・夏季休業中の活動日が少ない(土曜日のみで、休業中は翠陵会館の利用が限られてしまう)
- ・問題あつてなくなったのは分かるけど他大や OB も合宿所で泊まれると合同練習の誘致がしやすい
- ・合宿所が汚くて使うのをためらう
- ・和室とか汚いまま帰る団体とかがあるから、団体ごとに掃除の義務を

部員・メンバーについて

<体育系>

- ・部員が少なく、活動(練習メニュー・他大学との交流の際の役割)に制限がかかってしまうところ
- ・部員・メンバーが少ない
- ・マネージャーが欲しい

<文化系>

- ・所属者はそれなりにいるにもかかわらず、積極的に参加してくれる部員が少ない
- ・途中から留学生の参加が少なくなる
- ・部員が少ない(現時点で新1年は1名)
- ・部員が多く(100名以上)、一年生とのつながりが薄い
- ・集まりが悪い

経費について

<体育系>

- ・課外活動における費用がかさむ

<文化系>

- ・(大会や遠征費等における)活動資金の補助金がほしい。しっかり申請した上での補助金ならば、何のために使うのかもわかりムダにはならないと思う。中高の部活で親が出してくれていた、学校から補助金があったが、大学生は下宿やバイト、奨学金を返しながら部費を払っている人もいて大変
- ・外部から、しっかりした先生を呼びたいが、常に年間で契約するまでお金がない。(団として会計がこれまでしっかり貯金してこなかったのもあります)

企画について

<体育系>

- ・4月に武道系サークル合同の新歓イベントがあると面白いのかなと思う

<文化系>

- ・スケッチ旅行に行きたい
- ・学外での活動が特にならない
- ・部活外への披露をすること

その他

<体育系>

- ・神宮大会へ出場する！

<文化系>

- ・サークルの運営やイベントへの参加などの必要性、責任を後輩にどう伝えていいかわからない。
あくまでサークルなので、自由参加という風潮が強く、厳しく言うべきかわからない
- ・全国大会へ行きたい。(せっかく大会に出て忙しい中、時間を費やしているから)
- ・効率的な努力が報われる練習がしたい。(学生の経験だけではやはり限界がある)
- ・身近なライバルがほしい。(県内に大学合唱団がなく東海で交流しているが遠い存在に感じる)

編集：三重大学 学生総合支援センター

